

議会運営委員会の概要

※協議に先立ち、能登委員長から、人事異動で新たに就任した相田総務部長が紹介され、同部長が挨拶を行った。

1 9月定例会の招集見通しについて

- ・総務部長から、9月定例会を9月16日(水)に招集したい旨の説明があり、了承された。

2 9月定例会の会期と日程（見込み）について

- ・議事調査課長から、資料「令和8年山形県議会9月定例会日程（見込み）」により、9月定例会の会期は、9月16日(水)から10月8日(木)までの23日間となる見込みである旨の説明があり、了承された。

3 その他

（1）アメリカ合衆国コロラド州・ハワイ州訪問について

- ・田澤議長から、コロラド州との姉妹県州40周年記念レセプション及びハワイ州との姉妹県州締結式への出席のため、訪問してきた旨の報告があった。

（2）9月補正予算内示会の開催について

- ・総務部長から、9月定例会招集日に先立って開催予定の議会運営委員会終了後、予算内示会を開催したい旨の説明があり、了承された。

（3）山形大学生インターンシップの受入に係る日程等について

- ・政策調査室長から、資料「山形大学生インターンシップの受入に係る日程等について」により説明があり、了承された。

（4）執行部からの報告事項について

①「第4次山形県総合発展計画後期実施計画（R7～R11）」の進捗状況と評価について（令和7年度末時点）」

- ・みらい企画創造部長から、資料「『第4次山形県総合発展計画 後期実施計画（令和7～11年度）』の進捗状況と評価について（令和7年度末時点）」により説明があった。

②令和8年熊本地震への県の支援状況について

- ・防災くらし安心部長から、資料「令和8年熊本地震への県の支援状況について」により説明があった。なお、資料中、災害派遣精神医療チーム（DPAT）が待機中であつたところ、昨日20時58分に待機解除の連絡があつた旨の補足説明があった。

(5) その他

【発言概要、質疑等】

(木村委員) JR陸羽西線は、今年1月に鉄道運転が再開され、半年程度しか経っていないが、一部バス運行を行うとの報道があった。あまりにも唐突である。一部バス運行が試験的なものだとしても、県民は、鉄道が廃止されてバス運行になると思ってしまう。陸羽西線は、内陸と庄内を結ぶ唯一の路線であり、今後、バス運行となった場合には、山形新幹線の庄内延伸も不可能となる。利用状況などを検証した上で、利用者が少ないから試験的にバス運行を行うということであれば理解できるが、運行再開後半年程度でバス運行を行うのは乱暴すぎる。部長はどのように受け止めているか。

⇒(みらい企画創造部長) 7月30日に開催したJR東日本、沿線自治体及び県によるJR陸羽西線の利用促進に関する勉強会において、JR東日本から日中時間帯の利用の少ない4便を減便するという事及び減便と同数のバスを運行することについて話があった。勉強会の中で、沿線自治体からは、「運転再開から1年を経過していない中で、減便の話が出ることに非常に困惑している」との声や、「沿線自治体を交えた陸羽西線の利用促進に係る検討が尽くされていない」との声があった。県としても、沿線自治体の声をしっかり聴いたうえで、検討を行って欲しいと考えている。陸羽西線は地域や観光の足としても、本県の東西をつなぐ路線としても、大変重要と認識しているので、沿線自治体とともに、JR東日本や国土交通省に、どのように要望していくのかを検討している。

(木村委員) 地域的心声を聴いて判断したのであれば理解できるが、勉強会の中で沿線自治体から困惑の声が出たということであり、バス運行はあまりにも早すぎると思う。JR米坂線の復旧についても、県議会の鉄道議連でJR九州のBRT(バス高速輸送システム)を視察し、「このような選択肢もありますよ」、「実証実験をしてください」とJR東日本に要望をしているが、実証実験する動きもない。JR東日本の地方鉄道に対する思いが薄い気がする。大切な地域の足であるため、地域的心声を聴きながら進めて欲しいので、JR東日本に申し入れしてもらいたい。

(五十嵐委員) 千葉豪雨は、放置された自動車が2,700台あるなど、大変な状況になっている。この豪雨の特徴は、川が氾濫したのではなく、アンダーパスや低地の住宅街に雨水が溜まったことにより、車中で亡くなった方が多いことである。低地は様々なところにあるため、1時間に100mmの雨が降れば、どこでも、千葉豪雨のような被害が発生する。本県ではどのような対策を行っていくのか。

⇒(防災くらし安全部長) 千葉豪雨による放置車両は、豪雨による急激な浸水の中で、運転者が身の安全を守る行動をとり、結果として多くの放置車両が発生することになったと認識している。この事案は本県でも起こり得るので、まずはハザードマップで浸水区域を住民の方に把握してもらうことが肝要である。そのため、市町村に住民への周知を改めて要請していきたい。また、放置車両の対応としては、千葉県の対策本部資料によると、千葉国道事務所、千葉県、千葉県警、千葉市、レッカー事業者組合などによる「道路の放置車両に対する円滑な対応に関するPT」が設置され、本日第1回会議が予定されている。千葉県の事例を検証して、本県の対応についても研究していきたいと考えている。

(五十嵐委員) ハザードマップの周知は重要だが、令和4年8月の置賜地域の水害では、飯豊町において、ハザードマップでは安全とされた地域に大きな被害が出た。こういったことも勘案しながら、千葉豪雨のような新しい形の水害に対し、市町村と情報交換しながら、対策を行って欲しい。

(矢吹委員) 熊本地震や千葉豪雨について、議会から義援金を贈呈することも検討していると思うが、前例に従って義援金贈呈の対応をして欲しい。

(能登委員長) 田澤議長から会派協議会で提案があり、各会派の意見集約を行うこととしている。

4 次回議運開催日時

9月11日(金) 午前10時

議 会 運 営 委 員 会 協 議 事 項

令和8年8月18日（火）

午 前 10 時

- 1 9月定例会の招集見通しについて
- 2 9月定例会の会期と日程（見込み）について
- 3 その他
- 4 次回議運開催日時
9月11日（金）午前10時

令和8年 山形県議会 9月定例会日程（見込み）

会期：9月16日（水）～10月8日（木）〔23日間〕〔令和8年8月18日現在〕

月	日	曜	議 会 日 程	開 始 時 刻	会 場
9月	16日	水	会派協議会 ※	午前9時30分	議長応接室
			議会運営委員会	午前10時	議会運営委員会室
			本会議 （開会、議案上程、知事説明）	議会運営委員会終了後	議場
			議案説明会	本会議終了後	予算特別委員会室
17日	木		（議案調査日）	—	—
18日	金		会派協議会 ※	午前9時30分	議長応接室
			議会運営委員会	午前10時	議会運営委員会室
19日	土		（休日）	—	—
20日	日		（休日）	—	—
21日	月		（敬老の日）	—	—
22日	火		（国民の休日）	—	—
23日	水		（秋分の日）	—	—
24日	木		本会議（代表質問）	午前10時	議場
25日	金		本会議（一般質問）	午前10時	議場
26日	土		（休日）	—	—
27日	日		（休日）	—	—
28日	月		（議案調査日）	—	—
29日	火		予算特別委員会	午前10時	予算特別委員会室
30日	水		予算特別委員会	午前10時	予算特別委員会室
10月	1日	木	予算特別委員会	午前10時	予算特別委員会室
	2日	金	会派協議会 ※	午前9時30分	議長応接室
			議会運営委員会	午前10時	議会運営委員会室
			本会議 （予算特別委員長報告、議案・請願各常任委員会付託）	議会運営委員会終了後	議場
			各常任委員会における意見調整 ※	本会議終了後	各委員会室
3日	土		（休日）	—	—
4日	日		（休日）	—	—
5日	月		総務常任委員会	午前10時	第1委員会室
			文教公安常任委員会		第2委員会室
			厚生環境常任委員会		第6委員会室
			農林水産常任委員会		第5委員会室
			商工労働観光常任委員会		第4委員会室
			建設常任委員会		第3委員会室
6日	火		総務常任委員会	午前10時	第1委員会室
			文教公安常任委員会		第2委員会室
			厚生環境常任委員会		第6委員会室
			農林水産常任委員会		第5委員会室
			商工労働観光常任委員会		第4委員会室
			建設常任委員会		第3委員会室
7日	水		持続可能なインフラ・安全安心なまちづくり対策特別委員会	午前10時	第1委員会室
			多様な人材活躍・関係人口交流人口対策特別委員会		第6委員会室
			地域経済力強化対策特別委員会		第2委員会室
8日	木		会派協議会 ※	午前9時30分	議長応接室
			議会運営委員会	午前10時	議会運営委員会室
			本会議 （各常任委員長報告、採決、追加議案及び決算上程、説明、決算特別委員会設置・付託、閉会）	議会運営委員会終了後	議場
			決算特別委員会	本会議終了後	予算特別委員会室

注1）※の会議等は非公開となります。

注2）上記日程は令和8年8月18日現在のものであり、日程の追加や変更がなされる場合がありますので十分ご留意願います。

山形大学生インターンシップの受入に係る日程等について

1 受入学生（1名）

地域教育文化学部 地域教育文化学科 3年

2 受入期間

令和8年8月17日（月）～ 21日（金）

3 主な実習内容

議会広報業務

常任委員会書記業務補助

特別委員会書記業務補助

4 書記業務補助を担当する委員会

8月19日（水）：文教公安常任委員会

8月20日（木）：持続可能なインフラ・安全安心なまちづくり対策特別委員会

「第4次山形県総合発展計画 後期実施計画（令和7～11年度）」の 進捗状況と評価について（令和7年度末時点）

<重点テーマ>

1 目標指標の進捗状況

目標値に到達している項目が1項目、策定時の数値を下回っている項目が1項目となっており、令和7年（度）の数値が未発表等である項目が8項目となっている。

	目標値に 到達	概ね順調 に推移	策定時から 横ばい	策定時を 下回る	小計	その他 (※)	合計
項目数	1項目 (50.0%)	0項目 (0.0%)	0項目 (0.0%)	1項目 (50.0%)	2項目 (100.0%)	8項目 —	10項目 —

※ 「その他」は、計画開始年度である令和7年（度）のデータが未発表であるもの、又は施策効果の発現・把握が今後になるもの。

○ 策定時の数値を下回っている項目（1項目）

- ・15～24歳（日本人）の社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）

2 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

策定時の数値から進捗又は横ばいである項目や、策定時の数値を下回っている項目があるものの、指標値どおりに推移している項目、及び概ね順調に推移している項目が82.4%（計28項目）となっており、全体として概ね順調に進捗している。

	指標値どお りに推移	概ね順調 に推移	進捗又は 横ばい	策定時を 下回る	小計	その他 (※)	合計
項目数	21項目 (61.8%)	7項目 (20.6%)	1項目 (2.9%)	5項目 (14.7%)	34項目 (100.0%)	8項目 —	42項目 —

※ 「その他」は、計画開始年度である令和7年（度）のデータが未発表であるもの、又は施策効果の発現・把握が今後になるもの。

○ 策定時の数値を下回っている項目（5項目）

- ・女性の20～24歳（日本人）の社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）
- ・県外・国外からの転入者数
- ・デザイン産業や情報関連産業等の誘致件数及び企業立地件数
- ・高齢者の新規就業者の掘り起しによる就業者数
- ・「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思う児童生徒の割合

<全県版>

1 目標指標の進捗状況

目標値に到達している項目が3項目、概ね順調に推移している項目が5項目、策定時の数値を下回っている項目が5項目となっており、令和7年（度）の数値が未発表等である項目が15項目となっている。

	目標値に 到達	概ね順調 に推移	策定時から 横ばい	策定時を 下回る	小計	その他 (※)	合計
項目数	3項目	5項目	0項目	5項目	13項目	15項目	28項目
	(23.0%)	(38.5%)	(0.0%)	(38.5%)	(100.0%)	—	—

※ 「その他」は、計画開始年度である令和7年（度）のデータが未発表であるもの、又は施策効果の発現・把握が今後になるもの。

○ 策定時の数値を下回っている項目（5項目）

- ・ 15～24歳（日本人）の社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）
- ・ 県外・国外からの転入者数
- ・ 「授業中に課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいた」と思う児童生徒の割合
- ・ 雪害による死亡者数
- ・ 刑法犯認知件数

2 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

策定時の数値から進捗又は横ばいである項目や、策定時の数値を下回っている項目があるものの、指標値どおりに推移している項目、及び概ね順調に推移している項目が78.9%（計71項目）となっており、全体として概ね順調に進捗している。

	指標値どお りに推移	概ね順調 に推移	進捗又は 横ばい	策定時を 下回る	小計	その他 (※)	合計
項目数	57項目	14項目	3項目	16項目	90項目	31項目	121項目
	(63.3%)	(15.6%)	(3.3%)	(17.8%)	(100.0%)	—	—

※ 「その他」は、計画開始年度である令和7年（度）のデータが未発表であるもの、又は施策効果の発現・把握が今後になるもの。

○ 策定時の数値を下回っている項目（16項目のうち主なもの）

- ・ 20～24歳（日本人）の県外からの転入者数
- ・ 県と連携し、地域の強みや課題の分析に基づいた少子化対策の取組みを行う市町村数（累計）
- ・ 県内路線バス・デマンド型交通の路線数
- ・ 県の支援による商業・サービス業の新事業創出数
- ・ 高齢者の新規就業者の掘り起しによる就業者数
- ・ 新規漁業就業者数
- ・ 交通事故死傷者数

「第4次山形県総合発展計画 後期実施計画（令和7年度～11年度）」の進捗状況 ～目標指標・重要業績評価指標（KPI）～（4枚中の1枚目）

令和8年8月18日
みらい企画創造部

＜重点テーマ＞

若者・女性をはじめ多様な人々を惹きつける地域づくり	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況（※1）
	①	15～24歳（日本人）の社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）	△2,700人	△3,215人（R6年）	△3,361人（R7年）	△
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況（※2）
	1	「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思う児童生徒の割合	小6：85.9% 中3：81.3%	小6：85.4%（R6年度） 中3：80.8%（R6年度）	小6：83.3%（R7年度） 中3：80.5%（R7年度）	△
	2	デザイン産業や情報関連産業等の誘致件数及び企業立地件数	21件	21件 （R2～5年平均）	15件（R7年）	△
	3	やまがたスマイル企業認定数（累計）	500社	221社（R5年度）	634社（R7年度）	◎
	4	女性の20～24歳（日本人）の社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）	△1,050人	△1,108人（R6年）	△1,243人（R7年）	△
	5	高規格道路（高速道路）の供用率	86%	86%（R5年度）	86%（R7年度）	◎
	6	県立文化施設等の来館者数	128万人	1,279,180人 （R5年度）	1,391,188人 （R7年度）	◎
	7	婚姻率（20～44歳の人口千人当たり）	前年より上昇	12.48（R5年）	12.97（R7年）	◎
	8	「赤ちゃんぽつと♡ステーション」の登録施設数	112施設	72施設（R5年度）	157施設（R7年度）	◎
	9	男性の育児休業取得率	50%	35.2%（R5年）	55.5%（R7年）	◎
産業人材の育成及び多様な人材の就労の促進	10	短期滞在プログラムへの参加人数	650人	583人（R5年度）	837人（R6年度）	―
	11	県外・国外からの転入者数	14,800人	14,457人（R6年）	14,054人（R7年）	△
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	②	一人当たり県民所得	300万円	290万円（R3年度） （※3）	327万円（R5年度）	―
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	12	職場見学・職場体験等を行っている小中高等学校の割合	小：92% 中：98% 高：100%	小：90.1%（R5年度） 中：97.9%（R5年度） 高：98.1%（R5年度）	小：86.9%（R7年度） 中：96.9%（R7年度） 高：98.0%（R6年度）	―
	13	県内新規高卒者の県内就職割合	80.8%	80.0%（R5年度）	77.3%（R6年度）	―
	14	県内大学・短期大学等卒業者の県内就職割合	32.5%	31.4%（R5年度）	31.5%（R7年度）	○
	15	従業員のリスクリングに取り組む企業の割合	8%	―	―	―
	16	高齢者（65歳以上）の実雇用率	8.5%	8.0%（R5年度）	9.2%（R7年度）	◎
地域社会・産業経済の国際化の推進	17	障がい者の実雇用率	2.5%	2.31%（R5年度）	2.39%（R7年度）	○
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	③	「日本人も外国人も、お互いを認め合い、地域を構成する一員として共に活躍できる社会」を重要だと思う人の割合	上昇	―	61.9%（R7年度）	―
	④	観光消費額（訪日外国人）	300億円	102億円（R5年）	140億円（R6年）	―
	⑤	輸出額	1,950億円	1,679億円（R5年）	1,531億円（R6年）	―
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	18	多文化理解講座参加者数（累計）	12,000人	7,645人 （R2～5年度累計）	12,379人（R7年度）	◎
	19	外国人の日本語学習者数	610人	551人（R5年度）	677人（R6年度）	―
	20	外国人留学生の県内受入れ数	400人	320人（R5年度）	336人（R7年度）	○
	21	県内の外国人労働者数	7,000人	6,661人（R6年）	7,283人（R7年度）	◎
	22	外国人旅行者受入数	546,000人	401,948人（R5年）	742,815人 （R7年速報値）	◎
	23	県産品の輸出額（山形県国際経済振興機構支援分）	475百万円	415百万円 （R5年度）	419百万円 （R7年度）	○

※1 目標指標の状況 ◎：R7直近値が目標値に到達、○：R7直近値が概ね順調に推移（R7直近値が策定時よりも進捗）、◇：R7直近値が策定時から横ばい、△：R7直近値が策定時を下回る、―：その他（R7データ未集計又は施策効果の発現・把握が今後になるもの）
※2 KPIの状況 ◎：R7直近値が指標値どおりに推移（R7直近値がR7指標値以上）、○：R7直近値が概ね順調に推移（R7直近値がR7指標値の概ね8割以上到達、かつ、策定時よりも進捗）、◇：R7直近値が進捗又は横ばい（R7直近値がR7指標値の8割未満）
△：R7直近値が策定時を下回る、―：その他（R7データ未集計又は施策効果の発現・把握が今後になるもの）
※3 県民経済計算（内閣府）は、毎年度、平成23年度まで遡って推計値が算出されるため、後期実施計画に記載の一人当たり県民所得の現状値286万円（R3年度）と異なっている。

※ 本資料は、令和8年7月24日に山形県総合政策審議会に報告しているものです。

デジタルの徹底活用による暮らしの利便性・産業活力の向上	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	⑥	デジタル技術の活用により、交通、医療、教育などの公的サービスの利便性が向上したと実感している県民の割合	上昇	―	28.9%（R7年度）	―
	⑦	製造業従事者一人当たり付加価値額	1,280万円	1,163万円（R4年）	1,372万円（R5年）	―
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	24	デジタル技術を活用した新規事業数（累計）	25事業	―	34事業（R7年度）	◎
	25	D×に取り組む県内企業（製造業）の割合	52%	40%（R5年度）	62%（R7年度）	◎
	26	市町村が実施するフロントヤード改革の取組件数	65件	59件（R5年度）	76件（R6年度）	―
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	⑧	環境効率（CO2排出量1万トン当たりの県内総生産）	現状値から向上	5,483百万円/万トン （R3年度）	6,058百万円/万トン （R4年度）	―
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	27	再生可能エネルギーの導入量	95万kW	72万kW（R5年度）	75万kW（R7年度）	◇
優れた環境資産を活用した環境と経済の好循環の創出	28	脱炭素経営に取り組む企業数（累計）	300社	―	317社（R7年度）	◎
	29	県内企業がGX関連の技術開発に取り組む件数（累計）	10件	―	10件（R7年度）	◎
	30	環境学習・環境保全活動への参加者数	194千人	191千人（R5年度）	187千人（R6年度）	―
	31	山岳観光地観光者数	658千人	614千人（R5年度）	497千人（R6年度）	―
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	⑨	健康寿命（日常生活に制限のない期間）	平均寿命の延びを上回って伸長	男性：72.09歳（R4年） 女性：75.29歳（R4年）	男性：72.09歳（R4年） 女性：75.29歳（R4年）	―
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	32	地域における健康づくり事業への参加者数	88,000人	78,157人（R5年度）	78,569人（R7年度）	○
	33	高齢者の新規就業者の掘り起しによる就業者数	400人	374人 （R2～5年度平均）	365人（R7年度）	△
	34	地域医療情報ネットワークの参照件数	2,659千件	2,601千件 （R5年度）	2,952千件 （R7年度）	◎
超高齢社会に対応した安全・安心の構築	35	地域包括支援センター現任職員研修の受講者数（累計）	741人	667人（R5年度）	785人（R7年度）	◎
	36	高齢者等の見守りネットワーク設置市町村数	6市町村	2市町村（R5年度）	7市町村（R7年度）	◎
	37	地震対策（耐震改修または減災対策）のなされていない住宅戸数（推計）	48,900戸	51,100戸（R6年度）	49,000戸（R7年度）	○
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
大規模災害等に対応した地域防災力の向上	⑩	風水害（台風、大雨、洪水等）による死亡者数	0人	0人（R5年度）	0人（R7年度）	◎
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	38	家庭で防災対策に取り組んでいる県民の割合	35%	30.0%（R1年度）	49.0%（R7年度）	◎
	39	防災士の養成人数（累計）	1,500人	996人（R5年度）	1,524人（R7年度）	◎
	40	自主防災組織の組織率	93.0%	92.4%（R6年度）	93.0%（R7年度）	◎
	41	災害マネジメント総括支援員、災害マネジメント支援員の登録数（累計）	33人	29人（R5年度）	35人（R7年度）	◎
	42	土砂災害の危険性がある区域内の施設整備による保全人口の割合	42%	40.3%（R5年度）	41.9%（R7年度）	○
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況

「第4次山形県総合発展計画 後期実施計画（令和7年度～11年度）」の進捗状況 ～目標指標・重要業績評価指標（KPI）～（4枚中の2枚目）

<全県版>

次代を担い地域を支える人材の育成・確保	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況※1）
	①	全国学力・学習状況調査における正答率が全国平均以上の科目数	全科目	4科目中0科目（R6年度）	6科目中2科目（R7年度）	○
	②	「授業中に課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいた」と思う児童生徒の割合	小6：84.0% 中3：85.1%	小6：81.5%（R6年度） 中3：82.6%（R6年度）	小6：82.1%（R7年度） 中3：78.8%（R7年度）	△
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況※2）
	1	「授業が、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた」と思う児童生徒の割合	小6：85.6% 中3：82.5%	小6：85.1%（R6年度） 中3：82.0%（R6年度）	小6：84.9%（R7年度） 中3：80.9%（R7年度）	△
	2	授業において、PC・タブレット等のICT機器をほぼ毎日使用している小中学校の割合	小：60% 中：60%	小：51.4%（R6年度） 中：47.9%（R6年度）	小：72.4%（R7年度） 中：66.0%（R7年度）	◎
	3	「自分にはよいところがある」と思う児童生徒の割合	小6：84.5% 中3：84.9%	小6：84.0%（R6年度） 中3：84.4%（R6年度）	小6：87.9%（R7年度） 中3：87.8%（R7年度）	◎
	4	不登校児童生徒のうち、学校や学校外の機関等とつながりを持っている児童生徒の割合	96%	—	99.7%（R6年度）	—
	5	運動・スポーツが「好き」な児童生徒の割合	88.7%	88.2%（R6年度）	88.0%（R7年度）	△
	6	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小6：83.0% 中3：68.9%	小6：81.8%（R6年度） 中3：68.4%（R6年度）	小6：82.6%（R7年度） 中3：71.0%（R7年度）	○
	7	授業にICTを活用して指導する教員の割合	80%	79.1%（R5年度）	79.3%（R6年度）	—
	8	CEFR A2レベル相当以上の英語力を取得または有すると思われる高校生の割合	56%	55.1%（R5年度）	53.8%（R7年度）	△
	9	県立高等教育機関等が地域や企業等と連携して行う事業の件数	29件	28件（R1～5年平均）	36件（R7年度）	◎
	10	特別支援教育に係る校内研修を実施している小中高等学校の割合	小：80% 中：70% 高：50%	小：74.7%（R5年度） 中：58.3%（R5年度） 高：47.0%（R5年度）	小：81.4%（R6年度） 中：63.2%（R6年度） 高：55.1%（R6年度）	—
	11	公立学校における日本語指導が必要な児童生徒のうち、学校において日本語指導等特別な配慮に基づく指導を受けている者の割合	91%	88.9%（R5年度）	88.9%（R5年度）	—
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	③	過去1年間に月1日以上学習を行った県民の割合	80%	—	24.7%（R7年度）	—
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	12	公共職業訓練（離職者訓練）の修了者における就職率	75%	68.9%（R4年度）	71.8%（R5年度）	—
	13	従業員のリスクリングに取り組む企業の割合	8%	—	—	—
	14	公民館等で開催されている各種事業・講座等への参加人数	468,000人	467,489人（R5年度）	419,563人（R6年度）	—
	15	県立文化施設等の来館者数	128万人	1,279,180人（R5年度）	1,391,188人（R7年度）	◎
	16	成人のスポーツ実施率（週1回程度）	42%	40.0%（R6年度）	40.5%（R7年度）	○
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	④	15～24歳（日本人）の社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）	△2,700人	△3,215人（R6年）	△3,361人（R7年）	△
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	17	「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思う児童生徒の割合	小6：85.9% 中3：81.3%	小6：85.4%（R6年度） 中3：80.8%（R6年度）	小6：83.3%（R7年度） 中3：80.5%（R7年度）	△
	18	本県出身者の県内大学・短期大学への進学割合	25.7%	25.1%（R6年度）	25.3%（R7年度）	○
	19	県内新規高卒者の県内就職割合	80.8%	80.0%（R5年度）	77.3%（R6年度）	—
	20	県内大学・短期大学等卒業者の県内就職割合	32.5%	31.4%（R5年度）	31.5%（R7年度）	○
	21	20～24歳（日本人）の県外からの転入者数	2,400人	2,378人（R6年）	2,312人（R7年）	△
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	⑤	県外・国外からの転入者数	16,000人	14,457人（R6年）	14,054人（R7年）	△
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	22	移住・交流ポータルサイトトップページのアクセス件数	290,000件	253,459件（R5年度）	636,074件（R7年度）	◎

※1 目標指標の状況 ◎：R7直近値が目標値に到達、○：R7直近値が概ね順調に推移（R7直近値が策定時よりも進捗）、◇：R7直近値が策定時から横ばい、△：R7直近値が策定時を下回る、—：その他（R7データ未集計又は施策効果の発現・把握が今後になるもの）
※2 KPIの状況 ◎：R7直近値が指標値どおりに推移（R7直近値がR7指標値以上）、○：R7直近値が概ね順調に推移（R7直近値がR7指標値の概ね8割以上到達、かつ、策定時よりも進捗）、◇：R7直近値が進捗又は横ばい（R7直近値がR7指標値の8割未満）
△：R7直近値が策定時を下回る、—：その他（R7データ未集計又は施策効果の発現・把握が今後になるもの）

次代を担い地域を支える人材の育成・確保	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	23	県の移住支援を受けた県外からの移住者数	750人	701人（R6年）	875人（R7年）	◎
	24	短期滞在プログラムへの参加人数	650人	583人（R5年度）	837人（R6年度）	—
	25	外国人留学生の県内受入れ数	400人	320人（R5年度）	336人（R7年度）	○
	26	「日本人も外国人も、お互いを認め合い、地域を構成する一員として共に活躍できる社会」を重要だと思う人の割合	— （R8：前年度より上昇）	—	61.9%（R7年度）	—
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	⑥	新規就農者数の東北における順位	東北1位	東北1位（R6年度）	東北1位（R7年度）	◎
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	27	新規就農者数	400人	383人（R6年）	405人（R7年）	◎
	28	東北農林専門職大学の入学者数	40人	40人（R6年度）	43人（R7年度）	◎
	29	農地整備実施地区の大区画整備面積（累計）	4,810ha	4,413ha（R5年度）	4,759ha（R7年度）	○
	30	スマート農業技術の延べ導入技術数	4,100件	3,404件（R6年）	4,389件（R7年）	◎
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	⑦	経営体当たり生産農業所得	550万円	338万円（R2～5年平均）	542万円（R6年）	—
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	31	主食用米の全国シェア（重量ベース）	4.77%	4.70%（R5年）	4.32%（R6年）	—
	32	経営体当たり米の産出額	580万円	395万円（R2～5年平均）	795万円（R6年）	—
	33	経営体当たり果実の産出額	960万円	791万円（R2～5年平均）	905万円（R6年）	—
	34	経営体当たり野菜の産出額	720万円	630万円（R2～5年平均）	710万円（R6年）	—
	35	経営体当たり肉用牛の産出額	3,210万円	2,332万円（R2～5年平均）	2,949万円（R6年）	—
	36	県産農林水産物の食品製造業等による付加価値額	525億円	496億円（R4年）	541億円（R5年）	—
	37	県産農産物の輸出額	14億円	11.5億円（R5年度）	13.7億円（R6年度）	—
競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	⑧	木材生産量	70万㎡	59.1万㎡（R5年）	55.1万㎡（R6年）	—
	⑨	再造林率	100%	88%（R5年度）	90%（R6年度）	—
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	38	林業労働生産性	8.2㎡/人日	7.2㎡/人日（R5年度）	7.2㎡/人日（R6年度）	—
	39	新規林業就業者数	70人	60人（R5年度）	75人（R6年度）	—
	40	JAS製品等出荷量（木材）	85千㎡	76千㎡（R5年）	76千㎡（R6年）	—
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	⑩	経営体当たり海面漁業生産額	965万円	773万円（R5年）	759万円（R6年）	—
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	41	新規漁業就業者数	20人	12人（R5年度）	10人（R7年度）	△
	42	漁港・港湾で新たに取り組む海業の件数（累計）	3件	2件（R6年度）	2件（R7年度）	◇
	43	県産ブランド魚種の平均単価	1,400円/kg	1,372円/kg（R5年）	1,137円/kg（R7年）	△

「第4次山形県総合発展計画 後期実施計画（令和7年度～11年度）」の進捗状況 ～目標指標・重要業績評価指標（KPI）～（4枚中の3枚目）

<全県版>

高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況※1
	⑪	製造業従事者一人当たり付加価値額	1,280万円	1,163万円(R4年)	1,372万円(R5年)	—
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況※2
	44	D Xに取り組む県内企業（製造業）の割合	52%	40%(R5年度)	62%(R7年度)	◎
	45	県内企業がG X関連の技術開発に取り組む件数（累計）	10件	—	10件(R7年度)	◎
	46	県内学術・研究機関や県試験研究機関と県内企業等の共同研究等実施件数	80件	80件(R5年度)	88件(R7年度)	◎
	47	企業同士が情報交換や技術交流できる場の創出件数	55件	45件(R5年度)	57件(R7年度)	◎
	48	プロフェッショナル人材と県内企業とのマッチング件数（累計）	734件	594件(R5年度)	760件(R7年度)	◎
	49	県の支援による創業件数	80件	74件(R2～5年度平均)	81件(R7年度)	◎
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	⑫	製造業付加価値額	1兆2,500億円	1兆1,431億円(R4年)	1兆3,440億円(R5年)	—
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	50	工業技術センターによる技術移転件数	90件	90件(R5年度)	118件(R7年度)	◎
	51	県の支援による商業・サービス業の新事業創出数	50件	45件(R6年度)	34件(R7年度)	△
	52	県産品の輸出額（山形県国際経済振興機構支援分）	475百万円	415百万円(R5年度)	419百万円(R7年度)	○
	53	やまがたスマイル企業認定数（累計）	500社	221社(R5年度)	634社(R7年度)	◎
	54	県の支援による県内企業の事業承継マッチング数	33件	27件(R2～5年度平均)	40件(R7年度)	◎
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	⑬	観光消費額	2,600億円	1,772億円(R5年)	1,884億円(R6年)	—
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	55	観光者数	41,400千人	38,664千人(R5年度)	41,289千人(R6年度)	—
	56	観光消費額単価（県外客（宿泊））	34,100円/人回	31,799円/人回(R5年)	26,652円/人回(R6年)	—
	57	平均宿泊数	1.36泊	1.35泊(R5年)	1.28泊(R7年)	△
	58	外国人旅行者受入数	546,000人	401,948人(R5年)	742,815人(R7年速報値)	◎
	59	観光消費額単価（訪日外国人（宿泊））	45,500円/人回	38,933円/人回(R5年)	39,756円/人回(R6年)	—
	60	平均宿泊数（訪日外国人）	1.57泊	1.37泊(R5年)	1.39泊(R7年)	○
	61	県が誘致したスポーツ合宿団体による地域交流件数（累計）	3件	—	6件(R7年度)	◎
県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	⑭	風水害（台風、大雨、洪水等）による死亡者数	0人	0人(R5年度)	0人(R7年度)	◎
	⑮	雪害による死亡者数	0人	1人(R5年度)	6人(R7年度)	△
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	62	地震対策（耐震改修または減災対策）のなされていない住宅戸数（推計）	48,900戸	51,100戸(R6年度)	49,000戸(R7年度)	○
	63	道路の重要インフラ点検に基づく道路路面等の要対策箇所の整備進捗率	80%	73%(R5年度)	81%(R7年度)	◎
	64	河川の流下能力向上対策の実施延長（令和4年度からの累計）	230km	124km(R5年度)	250km(R7年度)	◎
	65	土砂災害の危険性がある区域内の施設整備による保全人口の割合	42%	40.3%(R5年度)	41.9%(R7年度)	○
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	⑯	健康寿命（日常生活に制限のない期間）	平均寿命の延びを上回って伸長	男性：72.09歳(R4年) 女性：75.29歳(R4年)	男性：72.09歳(R4年) 女性：75.29歳(R4年)	—

※1 目標指標の状況 ◎：R7直近値が目標値に到達、○：R7直近値が概ね順調に推移（R7直近値が策定時よりも進捗）、◇：R7直近値が策定時から横ばい、△：R7直近値が策定時を下回る、—：その他（R7データ未集計又は施策効果の発現・把握が今後になるもの）
※2 KPIの状況 ◎：R7直近値が指標値どおりに推移（R7直近値がR7指標値以上）、○：R7直近値が概ね順調に推移（R7直近値がR7指標値の概ね8割以上到達、かつ、策定時よりも進捗）、◇：R7直近値が進捗又は横ばい（R7直近値がR7指標値の8割未満）
△：R7直近値が策定時を下回る、—：その他（R7データ未集計又は施策効果の発現・把握が今後になるもの）

県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	66	家庭で防災対策に取り組んでいる県民の割合	35%	30.0%(R1年度)	49.0%(R7年度)	◎
	67	防災士の養成人数（累計）	1,500人	996人(R5年度)	1,524人(R7年度)	◎
	68	自主防災組織の組織率	93.0%	92.4%(R6年度)	93.0%(R7年度)	◎
	69	災害用備蓄物資（飲料水）の備蓄数量	108,000ℓ	72,000ℓ(R6年度)	125,892ℓ(R7年度)	◎
	70	災害マネジメント総括支援員、災害マネジメント支援員の登録数（累計）	33人	29人(R5年度)	35人(R7年度)	◎
	71	除雪ボランティアの登録者数	1,325人	1,261人(R5年度)	1,471人(R7年度)	◎
	72	緊急事態発生時の対処要領（各種危機管理マニュアル）を踏まえた訓練の実施状況	100%	99.8%(R5年度)	99.5%(R7年度)	△
	73	各二次医療圏における地域感染（予防）対策ネットワークの構築数	3地域	3地域(R5年度)	3地域(R7年度)	◎
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	⑰	刑法犯認知件数	3,052件未満	3,052件(R6年)	3,191件(R7年)	△
	⑰	交通事故死者数	24人以下	24人(R6年)	23人(R7年)	◎
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	74	重要犯罪検挙率	87%	87%(H27～R6年平均)	87.5%(R7年)	◎
	75	高齢者等の見守りネットワーク設置市町村数	6市町村	2市町村(R5年度)	7市町村(R7年度)	◎
	76	交通事故死傷者数	2,900人以下	2,951人(R6年)	2,999人(R7年)	△
	77	交通事故発生件数	2,400件以下	2,457件(R6年)	2,486件(R7年)	△
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	⑱	健康寿命（日常生活に制限のない期間）	平均寿命の延びを上回って伸長	男性：72.09歳(R4年) 女性：75.29歳(R4年)	男性：72.09歳(R4年) 女性：75.29歳(R4年)	—
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	78	地域における健康づくり事業への参加者数	88,000人	78,157人(R5年度)	78,569人(R7年度)	○
	79	「やまがた健康企業宣言」登録事業所数	1,830社	1,496社(R5年度)	1,929社(R7年度)	◎
	80	県内臨床研修病院における臨床研修医の確保率	57%	56.9%(R2～6年度平均)	76.1%(R7年度)	◎
	81	地域医療情報ネットワークの参照件数	2,659千件	2,601千件(R5年度)	2,952千件(R7年度)	◎
	82	高齢者の「通いの場」への参加率（月1回以上）	8.5%	6.8%(R4年度)	7.3%(R5年度)	—
	83	重層的支援体制整備事業実施市町村の数	5市町村	2市町村(R5年度)	5市町村(R7年度)	◎
	84	地域包括支援センター現任職員研修の受講者数（累計）	741人	667人(R5年度)	785人(R7年度)	◎
	85	認知症サポーターの人数	192,000人	174,741人(R5年度)	189,428人(R7年度)	○
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	⑲	地域運営組織数	128組織	108組織(R6年度)	115組織(R7年度)	○
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	86	地域おこし協力隊員の任期終了後の定着率（累計）	61.3%	60.8%(R5年度)	62.2%(R7年度)	◎
	87	地域コミュニティ支援アドバイザーの派遣回数	21回	18回(R5年度)	28回(R7年度)	◎
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	⑳	「安心して子どもを生み育てられる環境」に関する満足度	上昇	—	25.9%(R7年度)	—

「第4次山形県総合発展計画 後期実施計画（令和7年度～11年度）」の進捗状況 ～目標指標・重要業績評価指標（KPI）～（4枚中の4枚目）

<全県版>

県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会へつなぐ	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況※1
	88	婚姻率（20～44歳の人口千人当たり）	前年より上昇	12.48（R5年）	12.97（R7年）	◎
	89	「産後ケア事業」を利用した産婦の割合	19.3%	9.1%（R4年度）	29.2%（R7年度）	◎
	90	「赤ちゃんぽっと♡ステーション」の登録施設数	112施設	72施設（R5年度）	157施設（R7年度）	◎
		県内新規高卒者の県内就職割合〔再掲〕	80.8%	80.0%（R5年度）	77.3%（R6年度）	—
		県内大学・短期大学等卒業者の県内就職割合〔再掲〕	32.5%	31.4%（R5年度）	31.5%（R7年度）	○
		20～24歳（日本人）の県外からの転入者数〔再掲〕	2,400人	2,378人（R6年）	2,312人（R7年）	△
	91	男性の育児休業取得率	50%	35.2%（R5年）	55.5%（R7年）	◎
		やまがたスマイル企業認定数（累計）〔再掲〕	500社	221社（R5年度）	634社（R7年度）	◎
	92	県と連携し、地域の強みや課題の分析に基づいた少子化対策の取り組みを行う市町村数（累計）	1市町村	—	0市町村（R7年度）	△
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況※2
	㉑	企業における女性の管理職登用割合	18.5%	16.0%（R5年度）	18.3%（R7年度）	○
	㉒	高齢者（65歳以上）の実雇用率	10.5%	8.0%（R5年度）	9.2%（R7年度）	○
	㉓	障がい者の実雇用率	2.9%	2.31%（R5年度）	2.39%（R7年度）	○
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	93	職場環境改善アドバイザーの派遣企業数	200社	200社（R5年度）	201社（R7年度）	◎
	94	高齢者の新規就業者の掘り起しによる就業者数	400人	374人 （R2～5年度平均）	365人（R7年度）	△
	95	障がい者雇用に関する啓発を図った企業数	250社	235社（R5年度）	283社（R7年度）	◎
		外国人留学生の県内受入れ数〔再掲〕	400人	320人（R5年度）	336人（R7年度）	○
		「日本人も外国人も、お互いを認め合い、地域を構成する一員として共に活躍できる社会」を重要だと思う人の割合〔再掲〕	— （R8：前年度より上昇）	—	61.9%（R7年度）	—
	96	やまがた社会貢献基金助成金額（累計）	632百万円	578百万円（R5年度）	635百万円（R7年度）	◎
	97	企業との包括連携協定の締結数（累計）	21件	19件（R5年度）	19件（R7年度）	◇
		やまがたスマイル企業認定数（累計）〔再掲〕	500社	221社（R5年度）	634社（R7年度）	◎
未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	㉔	デジタル技術の活用により、交通、医療、教育などの公的サービスの利便性が向上したと実感している県民の割合	上昇	—	28.9%（R7年度）	—
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	98	デジタル技術を活用した新規事業数（累計）	25事業	—	34事業（R7年度）	◎
	99	市町村が実施するフロントヤード改革の取組件数	65件	59件（R5年度）	76件（R6年度）	—
	100	D×の促進に向けた民間事業者及び市町村を対象とした研修会・ワークショップ等の開催数（累計）	76件	61件（R6年度）	78件（R7年度）	◎
	101	市町村が行っているデジタルデバйд対策の取組数	34件	31件（R5年度）	32件（R6年度）	—
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	㉕	県内の主な公共交通機関の年間輸送人員（県内⇄全国）	45,700千人	35,361千人（R4年度）	40,523千人（R6年度）	—
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
		外国人旅行者受入数〔再掲〕	546,000人	401,948人（R5年）	742,815人 （R7年速報値）	◎
	102	酒田港の定期コンテナ航路貨物量（実入り）	6,500TEU	6,328TEU （R6年速報値）	5,265TEU （R7年速報値）	△

※1 目標指標の状況 ◎：R7直近値が目標値に到達、○：R7直近値が概ね順調に推移（R7直近値が策定時よりも進捗）、◇：R7直近値が策定時から横ばい、△：R7直近値が策定時を下回る、—：その他（R7データ未集計又は施策効果の発現・把握が今後になるもの）
※2 KPIの状況 ◎：R7直近値が指標値どおりに推移（R7直近値がR7指標値以上）、○：R7直近値が概ね順調に推移（R7直近値がR7指標値の概ね8割以上到達、かつ、策定時よりも進捗）、◇：R7直近値が進捗又は横ばい（R7直近値がR7指標値の8割未満）
△：R7直近値が策定時を下回る、—：その他（R7データ未集計又は施策効果の発現・把握が今後になるもの）

未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	103	山形空港の定期便搭乗者数	347,400人	345,493人 （R5年度）	359,955人 （R7年度）	◎
	104	庄内空港の定期便搭乗者数	346,000人	342,353人 （R5年度）	370,937人 （R7年度）	◎
	105	高規格道路（高速道路）の供用率	86%	86%（R5年度）	86%（R7年度）	◎
	106	高規格道路（地域高規格道路）の供用率	42%	36%（R5年度）	42%（R7年度）	◎
	107	県内路線バス・デマンド型交通の路線数	294路線	294路線（R6年度）	290路線（R7年度）	△
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	㉖	温室効果ガス排出量削減率（H25年度対比）	47.0%	22.7%（R3年度）	27.7%（R4年度）	—
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	108	環境学習・環境保全活動への参加者数	194千人	191千人（R5年度）	187千人（R6年度）	—
	109	山岳観光地観光者数	658千人	614千人（R5年度）	497千人（R6年度）	—
	110	地域活性化等につながる文化財の保存・活用の取組件数（累計）	2件	2件（R6年度）	2件（R7年度）	◎
	111	全登録車数に占める次世代自動車普及率	36%	26%（R4年度）	34.5%（R7年度）	○
	112	やまがた省エネ健康住宅の年間新築戸数	280戸	240戸（R5年度）	260戸（R7年度）	○
	113	再生可能エネルギーの導入量	95万kW	72万kW（R5年度）	75万kW（R7年度）	◇
	114	一人1日当たりのごみ（一般廃棄物）排出量	850g以下	909g（R4年度）	869g（R6年度）	—
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	㉗	県内の4地域（村山、最上、置賜、庄内）のうち、全年齢の社会減少（地域外からの転入者数－地域外への転出者数）が改善した地域数	4地域	—	1地域（R7年）	—
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	115	県人口に占める居住誘導区域内人口の割合	26%	24.8%（R6年度）	28.4%（R7年度）	◎
		地域おこし協力隊員の任期終了後の定着率（累計）〔再掲〕	61.3%	60.8%（R5年度）	62.2%（R7年度）	◎
	116	連携中枢都市圏や定住自立圏における新規事業数（累計）	1件	—	4件（R7年度）	◎
	117	山形・東北各県間の流動人口	3,415千人	3,139千人 （R4年度）	3,923千人 （R6年度）	—
	118	海外の友好姉妹都市や山形県人会等と協力した国際交流の取組件数	10件	9件（R6年度）	9件（R6年度）	—
	目標指標		目標値（R11）	策定時の実績	直近値	状況
	㉘	補修対応が必要と判断された橋梁の対策進捗率	100%	—	6.7%（R7年度）	—
	重要業績評価指標（KPI）		KPI（R7）	策定時の実績	直近値	状況
	119	県有施設の維持管理業務の一括発注件数	7件	6件（R6年度）	7件（R7年度）	◎
	120	インフラメンテナンス等関連研修参加市町村割合	55%	37%（R6年度）	100%（R7年度）	◎
	121	社会資本の維持管理を行う協働団体数	1,276団体	1,264団体 （R5年度）	1,283団体 （R7年度）	◎

令和8年熊本地震への県の支援状況について

1 物的支援

(1) 支援物資（飲料水）の提供

- 熊本県の意向を踏まえ、7月31日（金）に飲料水を熊本県の物資集積拠点（グランメッセ熊本）に向けて発送し、8月2日（日）提供。

〔 500ml ペットボトル:12,000 本（500 箱）
2ℓペットボトル： 1,800 本（300 箱） 〕

(2) 被災者向け住宅の提供

- 本県の県営住宅及び県職員公舎（約160戸）を二次避難用住居として提供することとし、8月10日（月）から受付開始。
- 同日、被災者受入れ支援の相談窓口を防災くらし安心部内に設置。

2 人的支援

(1) 医療支援

- 厚生労働省からの要請を受け、DMATコーディネーター1名を派遣
 - ・ 派遣先：熊本県八代保健所管内
 - ・ 従事期間：8月13日（木）から17日（月）
 - ・ 8月21日（金）から25日（火）にDMATコーディネーター1名を派遣予定。
- 災害派遣精神医療チーム（DPAT）が待機中。

(2) 応急対策職員の派遣（対口支援）

- 総務省からの要請を受け、住家被害認定調査業務に従事する職員2名を派遣。
 - ・ 派遣先：熊本県御船町^{みふねまち}
 - ・ 従事期間：8月17日（月）から業務が完了するまでの期間
 - ・ 2名体制、1週間交代で派遣。

3 その他の支援

- 7月30日（木）から県庁ロビー及び各総合支庁等に募金箱を設置し、義援金の受付開始。
- 本県ホームページにおいて、熊本地震支援のポータルページを8月10日（月）から公開。

以上